

【活用にあって】

富士山の初冠雪は、山梨県の甲府地方気象台で目視して発表されます。今年は観測開始以来最も遅い記録で、10月26日から12日後の11月7日となりました。見出しの「やっと」に、皆が待ち望んでいた様子が伝わってきます。

記事の第2段落にあるように、前日に静岡県側からは雪化粧が見られたのですが、同気象台からは曇りのため見えず、正式な発表ではなく「宣言」にとどまったようです。

次ページにこの記事の前日の中日新聞東海本社発行の記事を載せましたので、参考にしてください。

こんな現象からも、地球温暖化が危惧されます。これを機に、環境の変化にも注目させるとよいですね。

解答

問1：りっとう

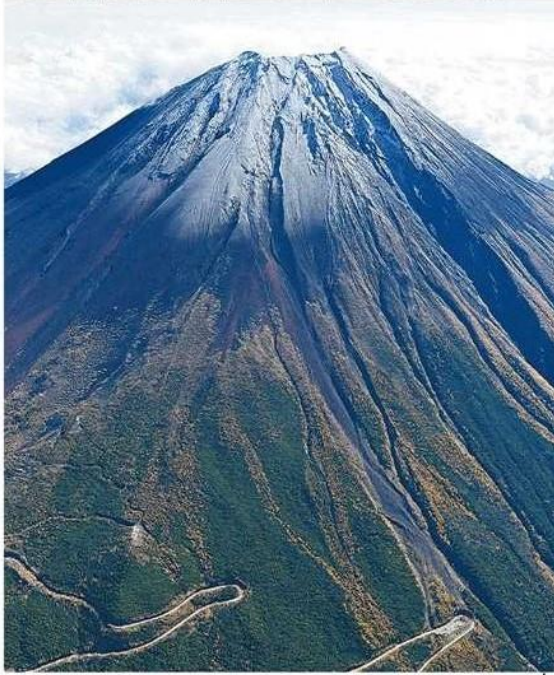
問2：雪化粧 初冠雪（実際の見出しは雪化粧）

問3：10月26日

問4：やまなし山梨

問5：（今年は）9，10月に平年より気温の高い日が続いた

雪化粧した富士山の頂上付近＝6日午前10時41分、山梨県で（本社ヘリ「わかづる」から）



ようやく「初雪化粧」

富士山頂上の静岡県側に積雪している様子を6日朝、共同通信記者が確認した。麓にある山梨県富士吉田市も積雪を目視し、独自の「初雪化粧」を宣言した。山頂から約40^{*}離れた場所にあり、初冠雪の目視観測を担う甲府地方気象台からは曇っていて見えず、初冠雪の発表はなかった。

観測されれば1894年から
の観測史上でも最も遅い初冠雪となる。これまで最も遅かったの

は、1955年と2016年の10月26日。平年は10月2日、昨年は10月5日だった。

気象台によると、5日夜から6日朝にかけて静岡県の南側に局地的な前線が発生し、静岡側を中心に積雪となった。担当者は取材に「山梨側は降水量が静岡側より少なかった」と話した。共同通信ヘリからは山頂付近にうっすらと雪がある様子が見えた。

冠雪が遅れているのは平年よ

り気温の高い日が続いたことが要因とみられる。10月の富士山頂の平均気温は1・6度で平年より3・6度高く、10月としては1932年の観測開始以降最高だった。

富士吉田市によると、市内は早朝から曇っていたが、午前10時半ごろ、雲間から白くなった山頂が見えた。宣言は、気象台が雲や霧で初冠雪を確認できない場合に備え2006年から出している。